



## リハビリテーション科からのメッセージ

### 世界を驚かす新たな治療とともに

リハビリテーション医学は日本専門医機構の定める基本 19 領域の一つであり、近年そのニーズが急速に拡大している分野です。過去には、後遺した障害に対する代償や残存機能の最大限利用といった消極的な治療がリハビリテーション治療の主でした。しかしニューロリハビリテーションといった新たな治療体系では、障害そのものを劇的に改善させる、急性期に障害が生じる過程自体を防ぐ等、より積極的な治療が可能になってきています。

全国の医学部において、講座を有する大学はまだまだ少ないのが現状です。我々慈恵医大リハビリテーション医学講座は本邦の中でも古い歴史を有し、研修病院を含め都内においては最大級の病床数を誇ります。あらゆる疾患に対し質・密度とも高い医療を経験できます。当科が世界をリードしている反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)は、脳疾患の様々な症状を劇的に改善させることができる新たな治療として国内外の様々なメディアでも紹介され、日本のみならず海外からも治療希望者が訪れます。ボツリヌス毒素注射による痙縮治療も積極的に行っており、都内の施注数の 4 割以上、成人に対する施注としては全国一位です。ともに世界に誇れる医療を目指しましょう。

リハビリテーション科 診療部長 安保 雅博